



## 4 設置する前に

本製品の設置・使用を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。設置にあたっては、次の点にご注意ください。

- 直射日光にあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体にある通気口をふさがないように設置してください。
- テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。
- メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

 光ファイバーケーブルは折れやすいので、取り扱いにご注意ください。

 光ファイバーケーブルをのぞかないでください。

## 5 設置のしかた

 目に傷害を被る場合がありますので、光ポートや光ファイバーケーブルをのぞきこまないでください。光ファイバーケーブルを接続していないときは、必ず光ポートにダストカバーを装着してください。

 AT-1331-10/80 運用中にラインカードの抜き差しを行う場合は、必ず以下の手順に従ってください。交換手順を誤った場合は、作業終了後にAT-1331-10/80の再起動が必要になります。

1. 本製品の接続先機器を確認してください。接続先機器の種類にあわせて、本製品のTTC設定スイッチの設定を行う必要があります。工場出荷時は下記のような状態になっています。

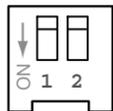


図3 TTC設定スイッチ

スイッチ「1」が本製品装着時に上のポート（UPPER）、スイッチ「2」が下のポート（LOWER）に対応します。

各ポートの接続先機器としてTTC技術仕様（TS-1000）に準拠した機器（AT-1317など）を使用する場合は上側（TTC ENABLE、出荷時設定）にしてください。

本製品にTTC技術仕様に準拠しない機器（弊社製CentreCOM MMC103LHなど）を接続する場合は下側（TTC DISABLE）にしてください。

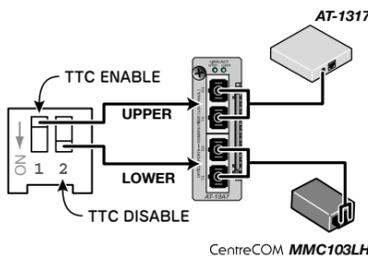


図4 TTC設定スイッチの設定と接続先機器

2. AT-1331-10/80にて、本製品を取り付けるラインカードスロットに属するポート番号を指定し「Inactivate（抜き差し準備状態）」にします。すでに「Inactive」である場合はありません。詳しくはAT1331-10/80付属のオペレーションマニュアルにて「3.1 ポート設定コマンド」より「ACTIVATE/INACTIVATE MODULE」を参照してください。

3. 本製品を取り付けるラインカードスロットを準備します。
- 空のラインカードスロットに本製品を接続する場合 AT-1331-10/80 前面のカバーパネルの拘束ネジを緩めて、カバーパネルを外します。

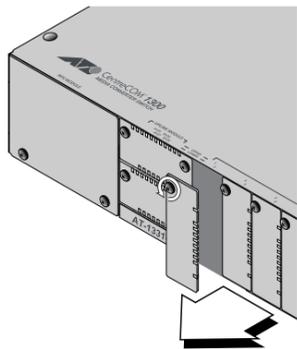


図5 カバーパネルの取り外し

- 使用中のラインカードと本製品を交換する場合 AT-1331-10/80 に装着されているラインカードの各光ポートに接続されている光ファイバーケーブルを取り外し、安全のためダストカバーを取り付けてください。拘束ネジを緩め、ハンドルを引っ張って外します。

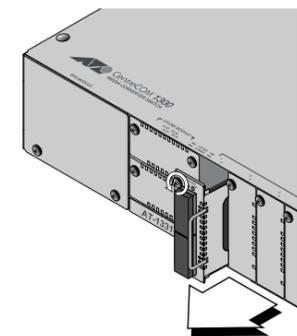


図6 ラインカードの取り外し

4. 本製品のボード部分をスロットのボードガイドに沿って差し込みます。本製品前面のパネルがAT-1331-10/80前面のパネルと揃う位置まで押し込み、拘束ネジを締めてください。

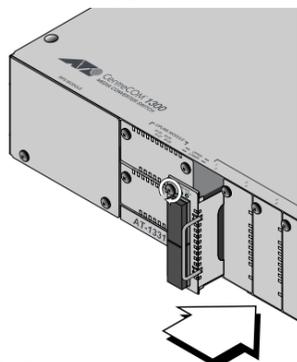


図7 本製品の取り付け

 故障や事故の原因となりますので、絶対に内部の部品に触れないでください。

5. AT-1331-10/80 にログインし、本製品を取り付けたモジュールに属するポート番号を指定して「Activate（抜き差し準備状態解除）」にします。

6. 100Mbps 光ポートについてのダストカバーを取り外して、光ファイバーケーブルを接続します。光ファイバーケーブルは2本で1対になっています。本製品のTXを接続先機器のRXに、本製品のRXを接続先機器のTXに接続してください。

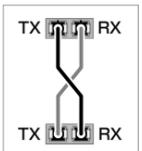


図8 ケーブル接続図

 本製品の取り付け時に一時的な接触不良などが発生していた場合は、AT-1331-10/80 が異常を検知し、自動的にAT-1331-10/80の再起動を行い、正常な運用を続けます。

AT-1331-10/80 の設定にはコンソールターミナルの接続が必要です。詳細は、AT-1331-10/80 に付属のマニュアルを参照してください。

## 6 ケーブル長・接続例

機器間を接続するためのケーブルが以下の長さであることを確認してください。

シングルモード光ファイバーケーブル（Full Duplex）...40km 以内\*

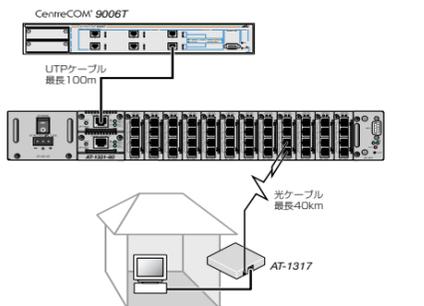


図8 接続例

## 7 トラブルシューティング

「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

- LINK/ACT LED は点灯していますか?

- 接続先機器（AT-1317など）に電源が入っているか確認してください。また、接続先機器（AT-1317など）に障害がないか、正しくケーブルが接続され通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

- 光ファイバーケーブルが正しく接続されているか、正しいケーブルを使用しているか、断線していないかなど確認してください。また、ケーブルの長さが制限（最長40km\*）を超えていないか確認してください。

本製品の動作状況は、LEDによる確認以外にAT-1331-10/80に接続されたコンソールターミナル上でも確認することができます。詳細はAT-1331-10/80に付属のマニュアルを参照してください。

## 8 コネクタ種別

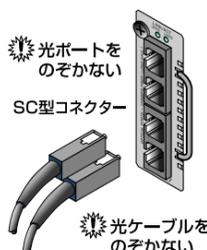


図9 コネクタ種別

## 9 推奨ケーブル

100Mbps 光インターフェース:

シングルモードファイバー（ITU-T G.652 勧告準拠）	
石英	9.5/125μm
伝送損失	0.4dB/km 以下
分散値	20ps/nm・km

## 10 製品仕様

準拠規格	
	IEEE802.3u 100BASE-FX (PMDを除く)
光ポート	
中心波長	1310nm
送信光レベル	-5 ~ 0dBm
受信光レベル	-34 ~ -10dBm
許容損失	29dB*
環境条件	
動作時温度	0 ~ 40℃
動作時湿度	80% 以下 (ただし、結露なきこと)
保管時温度	-20 ~ 60℃
保管時湿度	95% 以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	64 (W) × 138 (D) × 22 (H) mm
質量	
	約 80g

\* AT-1317 を対向で使用した場合です。

## 11 保証

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。

- 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

## 12 ユーザーサポート

本体の故障などのユーザーサポートは、「製品保証書」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。FAXでご連絡いただく場合は、裏の「調査依頼書（AT-13A7）」をコピーしたものに必要事項をご記入のうえ、下記のサポート先にFAXしてください。記入内容の詳細については、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

- アライドテレシス サポートセンター  
Tel : ☎ 0120-860-772  
月～金曜日（祝・祭日を除く）9:00～12:00  
13:00～18:00

Fax : ☎ 0120-860-662  
年中無休 24時間受け付け

## 13 調査依頼書のご記入にあたって

「調査依頼書」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、次の点にそってご記入ください。記入用紙に書ききれない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

- ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号（S/N）、製品リビジョン（Rev）を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例) 

- お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

- ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

## 14 おことわり

- 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2003 アライドテレシス株式会社

## 15 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

## 16 マニュアルバージョン

2003年6月 Rev.A 初版

\* 光ケーブルの最長距離（40km）は、ケーブルの伝送損失により異なります。また、使用環境によりアッテネーターが必要となる場合があります。